

審査所感

平成20年、第37回市美展「書」の部は、出品総数229点、前回展まで下降線をたどっていたが、今回16点の増加となり、一同ほっと安堵の胸をなで下ろした。

審査は、例年通り、きびしい雰囲気の中に進行し、二転三転とところを替え論議を重ね、時間ぎりぎり、漸く決定を見たのである。

芸術は、よく個性が云々されるが、「書」は、他の美術部門と異なり、文字を素材として成り立つ行為であることから、作品の優劣以前に、万人が読めることの前提条件がある。筆画や文字の崩し方に誤りがあれば、それは文字の用をなさない。従ってそれは、「書」の範疇を逸脱してしまう。まず第一に、正しい文字を書かなければならないのである。この条件をクリアし、ここから作品の優劣が競われることになる。行草作品の場合は、特に肝に銘じて欲しい。

「書」とは、その人間の全人格がニジミ出てくるものである。心をしずめ、心の依って来たところにいたる。個性などという、厄介なものはさて置いて、平常心で筆を運ぶとき、知らず知らずの裡にニジミ出てくるもの。それが本物の「書」ではなからうか。

平成20年3月5日

審査員長 村上皓南

第37回

書の部入賞者

賞 名	作 品 名	作 家 名	住 所
いわき市長賞	国分青厓詩	物江虹唐	桜ヶ丘
いわき市議会議長賞	蓉湖	金成晁泉	平豊間
いわき市教育委員会 教育長賞	花散りし	小松遊苑	西白河郡西郷村大字真船
《佳 作》			
いわき商工会議所 会頭賞	季応期詩	佐藤心耕	江名
いわき市文化協会会長賞	呉昌碩詩	新妻心葉	郷ヶ丘
福島県報徳社賞	李白詩	高野晶	小島町
〃	牧水のうたを	坂本一道	平上荒川
美術館友の会賞	臨鄧石如	樋田静流	錦町
(有)トーカイ賞	謝眺詩	谷津淑夫	内郷宮町
魁文堂賞	禪語句	新妻淡遠	常磐湯本町
〃	房篆詩	吉村翠苑	平
(有)平電子印刷所賞	蘇東坡詩	大平峰生	佐糠町
遠藤一心堂賞	碧潭煙	筧崎雪虹	鹿島町上蔵持
〃	李道生詩	服部桂山	好間町中好間
関根一心堂賞	臨敦煌漢簡	伊藤松茄	平赤井
マルナカ表具店賞	惜春	井戸川保子	郷ヶ丘
(株)坂本紙店賞	楊万里詩	小林昭夫	常磐上湯長谷町
(株)アメミヤ東北賞	李白詩	村越紫苑	平
ホープ商事株式会社賞	沈愚詩	木川秋鈴	内郷御厩町
(有)磐植賞	曹植詩	田中京華	小名浜
アートスペース泉賞	臨陳淳	菜花琴雪	四倉町
いわき書道協会賞	李白詩	笹原東邨	中岡町
〃	杜牧詩	関根精香	中之作
〃	萩原楽亭詩	加藤祥鳳	小名浜岡小名
〃	傅山詩	片寄光月	平
〃	春日田家	今峰積	内郷内町
新人賞	劉廷芝詩	田山青果	小名浜
〃	臨高貞碑	古瀬亜寿香	小名浜大原

※新人賞は30歳以下の若手作家を対象とし、受賞は3回までを上限とする。
若手育成を目的に設けられたものであり、毎年審査員が任意に若干名を選定する。

審査雑感

本年度の出品総数が213点で、昨年に比し16点の減である。中央初め、どの展覧会も下降の傾向にあるのは確かで、本心残念である。

色々な筆記用具ができ、絶対的に毛筆を使う機会の少なくなったのが、大きな起因であろう。また学校教育において、書道の時間が皆無に等しく制限されたため、学生は勿論、若い人たちにも影響し、自ずと敬遠する結果となる。それが上の年輩層にも波及して、書人口の減少悪化の一途をたどる。こうした事情をふまえ、現世を考えると仕方のない道理ではあるが、一介の指導者として何とか打開善処しなければと思う。

いわき市美展で作風の類型が目立ち、個性に欠く作品が多いので、観覧にあたって興味がわかないという言葉をよく耳にする。今回展も同じ判断が下されるかも知れない。

一体書が伝統の芸術であり、その源流は古典におき、様式とか類型とかいう姿を持って受け継がれてきたわけであるから、どうしても型を重要視するようになる。これを書学の方法として普通とらわれてきたので、無視はできない。型の学び方を否定して、古典を捨てたために、一つの悪い類型化に埋没した人を知っている。皮肉にもこわい事実である。

昭和期のある高名な大家が、師風の型を忠実に模倣して職人になりきれと断言していたのを思い出す。解釈によりいい意味にも悪い意味にもとれるが、「型に入る」ことは、一面学習における是として必須の条件と信ずる。類型とはいいいながら、その一つの型の中にあって、つとめて概念を避け、飛躍する気魄からの大胆な表現、そしてかつ新機軸をだすことによって、「型を脱する」ことになろう。

個性だが、絵画など他の部門と違って、一朝一夕に個々の特性をだすのは難しい。習練の積み重ねが行われている内に、自分らしさが発揮され、自然に独特なもの、即ち個性が生まれてくるのである。作品の中にその人間の顔をだすようになれば、それこそ本物と見做す。

閑話休題。本旨に入って、今展は31点と例年より入賞が多く輩出した。力作揃いで、筆技の巧妙さが目立つ。そして師風を追随しているものの、自分の個性を大なり小なり打出しているのは立派で好ましい。多年の練成の効果であろう。入選者を含め、今後の精励を期待したい。

平成21年3月11日

審査員長 佐々木 折 柴

第38回

賞 名	作 品 名	作 家 名	住 所
いわき市長賞	娑 羅 樹	筈 崎 雪 虹	鹿島町上蔵持
いわき市議会議長賞	臨 武 威 漢 簡	伊 藤 松 茄	平赤井
いわき市教育委員会 教 育 長 賞	太 田 水 穂 の う た	坂 本 一 道	平上荒川
《佳 作》			
いわき市文化協会会長賞	余 懐 詩	物 江 虹 唐	桜ヶ丘
福島県報徳社賞	呉 昌 碩 詩	金 成 晁 泉	平豊間
〃	謝 朓 詩	高 野 晶	小島町
美術館友の会賞	七 言 句	新 妻 淡 遠	常磐湯本町
(有) トーカイ賞	臨 傳 山	葉 花 琴 雪	四倉町
落 賞	欧 陽 修 詩	佐 藤 心 耕	江名
〃	美 し き 月	小 松 遊 苑	西白河郡西郷村大字真船
(有) 平電子印刷所賞	司 空 曙 詩	谷 津 淑 夫	内郷宮町
遠藤一心堂賞	潘 岳 詩	大 平 峰 生	佐糠町
〃	五 言 詩	山 川 榮 雪	平
関根一心堂賞	杜 濬 詩	藤 由 紫 光	中央台
マルナカ表具店賞	白 君 拳 詩	服 部 桂 山	好間町中好間
(株) 坂本紙店賞	竹 添 井 井 詩	佐 藤 春 畦	平中神谷
ホープ商事株式会社賞	蘇 軾 詩	村 越 紫 苑	平
(有) 磐 植 賞	劉 禹 錫 詩	田 中 京 華	小名浜
アールスペース泉賞	春 秋	井戸川 保 子	郷ヶ丘
仙台キョー和賞	邊 元 鼎 詩	吉 村 翠 苑	平
書 優 会 賞	三 字 句	藁 谷 保	小名浜
いわき書道協会賞	お と ず れ	臺 椒 花	遠野町滝
〃	臨 馬 王 堆	佐 藤 景 苑	平
〃	李 白 詩	今 峰 積	内郷内町
〃	臨 傳 山	鈴 木 多 佳	平上荒川
〃	古代のロマン散氏盤	笹 原 東 邨	中岡町
〃	朱 淑 真 詩	木 川 秋 鈴	内郷御厩町
〃	臨 居 延 新 簡	金 成 文 子	江名
〃	臨 徐 青 藤	佐 藤 露 風	四倉町上仁井田
〃	千字文の一節	本 田 葉 月	小名浜
青 少 年 賞	政 法 華 方 等 經	橋 本 日香里	泉町

※青少年賞は20歳未満を対象に若手育成を目的として設けられたものであり、毎年審査員が任意に若干名選定する。

審査所感

第39回市美展「書の部」は一般出品数156点（青少年7点を含む）、招待出品24点（遺作展示1点）、委嘱出品4点であった。昨年より29点減で、現今社会の動向と軌を同じく、それに加え高齢化の進行のせいか、些か気になる傾向である。

審査は、各審査員の意見を集約し、議論し厳正に行われた。

作品の内容傾向は、特に勝れた群を抜く作品はなく、どちらかと言えば平均的な内容であった。

観る人に感動を与える作品。自らの感動なくして他人が感動する訳がない。自分自身をあきらめないこと。

人間は時として希望に胸のふくらむ思いもあれば、夢も希望もずたずたに寸断され、悲しみの河底をはだして渡る時もある。逡巡している己に決断が迫られる。

人は、生命のある限り、常時停滞することなく流動し停止を知らない。「こころ」の據りどころを「書」に求めてさまよう。

「書」とはなんぞや。書とは心を表現する芸術である。

再び問う、書は行方もわからぬ、こころの旅路なのかもしれない。

平成22年3月10日

審査員長 村上皓南

第39回

書の部入賞者

賞名	作品名	作家名	住所
いわき市長賞	桃華浪	筧崎雪虹	鹿島町上蔵持
いわき市議会議長賞	玄言新記明老部	大平峰生	佐糠町
いわき市教育委員会 教育長賞	あすからは	小松遊苑	西白河郡西郷村大字真船
《佳作》			
いわき市文化協会会長賞	孫一元詩	物江虹唐	桜ヶ丘
福島県報徳社賞	臨傳山	菜花琴雪	四倉町
〃	劉基詩	吉田菱紅	内郷宮町
美術館友の会賞	山家集のうた	井戸川保子	郷ヶ丘
有限会社トーカイ賞	五言詩	片寄光月	平
洛賞	沈蘭先詩	高野晶	小島町
〃	李白詩	谷津淑夫	内郷宮町
有限会社平電子印刷所賞	吳昌碩詩	金成晁泉	平豊間
遠藤一心堂賞	吳惟英詩	伊藤松茄	平赤井
〃	郁植詩	吉村翠苑	平
関根一心堂賞	李白詩	田中京華	小名浜
マルナカ表具店賞	七言句	新妻淡遠	常磐湯本町
株式会社坂本紙店賞	張泌詩	和田純孝	平上片寄
ホープ商事株式会社賞	元稹詩	関根精香	中之作
有限会社磐植賞	高啓詩	今峰積	内郷内町
アートスペース泉賞	臨造像記	薄葉志千	平上平窪
仙台キョー和賞	曹学佺詩	藤由紫光	中央台
書優会賞	臨曹全碑	猪狩抱壺	遠野町上遠野
青少年賞	臨爨寶子之一節	橋本日香里	泉町

※青少年賞は20歳未満を対象に若手育成を目的として設けられたものであり、毎年審査員が任意に若干名選定する。

第 40 回展での思い

今年で 40 回展と記念すべきいわき市美展だが、書の部は途中からの参加で、確か昭和 50 年の第 5 回展からではなかったかと思う。当初はいわき市文化センターが会場で、絵画の部と同時開催という事情もあり、陳列場が手狭なため、分散しての展覧だったと記憶している。

この度、書の部は 40 回展を機に、運営委員の合意により、第 1 部と第 2 部の 2 部制にした。今まで第 1 部の大作主義をとっていたが、初学者をはじめ誰でも安易に応募できる小品による体系を組み、底辺の拡大を計る意図から、第 2 部が新設されたわけである。

今回展は出品総数が 212 点で、昨年度より 28 点増で、一昨年とほぼ同数にまで挽回した。中央展では年々減少と悪化の一途をたどっている現象の中で、本展の増加は有難いと申すか僥倖ともいえる。本年は第 2 部がふえ、特に高校生の微増であるが、いい傾向と見る。よって初回なのでどういう意味合いなのかははっきり掌握できないが、第 2 部の設置が一応成功したと解したい。

さて本展の内容だが、確かに各人運筆の巧みさから、上手な作品が多い。これは慶賀することで、大いに自負していい。しかし実際手堅さから、そつのない作品ではあるが、技術だけに固定終始して、漸新奇抜な風趣に欠けていまいか。型破りな所作とは申さぬが、観る者にひた押しに迫ってくるような気魄と意欲ある表現、言い換えれば、強い生命力を感じる優作が陸続と輩出してくれればと願うこと切である。

2011 年 3 月 9 日

審査員長 佐々木 折 柴

第40回

書の部入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所	
いわき市長賞	賀 鑄 詩	物 江 虹 唐	桜ヶ丘	第一部
いわき市議会議長賞	五 月 雨	井戸川 保 子	郷ヶ丘	〃
いわき市教育委員会教育長賞	薩 都 刺 詩	高 野 晶	小島町	〃
《佳 作》				
いわき市文化協会会長賞	呉 昌 碩 詩	金 成 晁 泉	平豊間	第一部
勲福島県報徳社賞	臨 傳 山	菜 花 琴 雪	四倉町	〃
〃	戴 曷 詩	谷 津 淑 夫	内郷宮町	〃
美術館友の会賞	天 の 河 原	江 川 文 子	泉玉露	〃
有限会社トーカイ賞	五 言 律 詩	片 寄 光 月	平	〃
洛 賞	七 言 句	新 妻 淡 遠	常磐湯本町	〃
〃	臨 馬 王 堆	佐 藤 景 苑	平	〃
有限会社平電子印刷所賞	林 連 詩	藤 由 紫 光	中央台	〃
遠 藤 一 心 堂 賞	桜 花 臺	麗 子	遠野町滝	〃
〃	陶 淵 明 詩	馬 上 里 風	常磐関船町	〃
関 根 一 心 堂 賞	王 偁 詩	吉 村 翠 苑	平	〃
マルナカ表具店賞	西 官 怨	馬 場 楊 苑	郷ヶ丘	〃
株式会社坂本紙店賞	黄 鎮 成 詩	吉 田 荃 紅	内郷宮町	〃
ホープ商事株式会社賞	銭 起 詩	田 中 京 華	小名浜	〃
有限会社磐植賞	七 言 二 句	小 林 昭 夫	常磐上湯長谷町	〃
アートスペース泉賞	臨 蘇 東 坡	村 越 紫 苑	平	〃
仙台キョー和賞	楊 道 賓 詩	今 峰 積	内郷内町	〃
書 優 会 賞	雪 中 松 柏	河 治 清 勝	山玉町	〃
株式会社ハニーズ賞	袁 機 詩	佐 藤 春 畦	平中神谷	〃
〃	臨 師 旋 簋	樋 田 静 流	錦町	〃
有限会社ロッキー賞	臨 傳 山	鈴 木 多 佳	平上荒川	第二部
いわき書道協会賞	広 瀬 青 村 詩	吉 田 流 鶯	中央台	〃
〃	袁 凱 詩	高 萩 祥 陽	泉町	〃
〃	夏 衣 阿	部 泰 雪	平薄磯	〃
〃	篠 崎 小 竹 詩	寺 崎 丹 楓	東田町	〃
〃	七 言 二 句	根 内 千 寿	好間町下好間	〃
〃	五 言 絶 句	国 井 東 華	小名浜玉川町	〃
〃	臨 曹 全 碑	芳 賀 善 風	泉町黒須野	〃
〃	盧 僎 詩	大 平 佐 喜	平	〃
〃	朱 夢 炎 詩	鈴 木 暎 月	錦町	〃
青 少 年 賞	臨 曹 全 碑	中 野 光 貴	遠野町根岸	〃

※青少年賞は 20 歳未満を対象に若手育成を目的として設けられたものであり、毎年審査員が任意に若干名選定する。

審査にあたりて

市美展「書」の部、41 回展は、昨年度より、47 点減の 164 点の出品であった。

昨年 3 月 11 日午後 2 時 46 分、千年に一度の東日本大震災により多くの人々の生命財産が失われ、そして同時に原発事故が発生し、狂乱怒濤の如く、政治・経済・文化・科学という人間が創りあげてきた社会基盤全体が揺さぶられ、その結果、多くの人々が暗黒の世界に放り出され、暗く寒々とした日々が続いた。

平成 24 年、今年は壬辰「龍」の年、古より龍騰り慶雲興ると言われてきた。より多くの人々が、希望をもって毎日を幸せに過されますことを心から祈念申し上げたい。

「われわれは後ろ向きに未来に入ってゆく、あたかも行く手に背を向けてボートを漕ぐように」と詩人ポール・ヴァレリーが述べているように、人が見ることのできる状景は過去と現在だけである。

忘れてよいことと、忘れてはいけないこととがある。過去には感動はない、そして今現在が生命の始まりである。精神には常に日々一瞬にして新しく萌え出るものがある。ひとりひとり皆それぞれの個性を生きる。個性とはもって生まれた宿業のことであろう。

筆の停止するとき、それは生命の停止を意味する。人の生命が脈を打っている時、筆はその生命の攝理と同じく動き続けるのである。

力強く、勇気をもって平成の明日に向って歩を進めたい。

2012 年 3 月 7 日

審査員長 村上 皓 南

第41回

書の部入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所	
いわき市長賞	呉 昌 碩 詩	金 成 晃 泉	平豊間	第一部
いわき市議会議長賞	邂逅—『伊勢物語』東下り—	江 川 文 子	泉玉露	〃
いわき市教育委員会教育長賞	七 字 句	新 妻 淡 遠	常磐湯本町	〃
《佳 作》				
いわき市文化協会会長賞	呉 惟 英 詩	谷 津 淑 夫	内郷宮町	第一部
福島県報徳社賞	曉	臺 麗 子	遠野町滝	〃
〃	千 若 瀛 詩	藤 由 紫 光	中央台	〃
美術館友の会賞	査 慎 行 詩	佐 藤 景 苑	平	〃
有限会社トーカイ賞	欧 陽 脩 詩	佐 藤 春 畦	平中神谷	〃
洛 賞	陶 淵 明 詩	田 中 京 華	小名浜	〃
〃	王 籍 詩	樋 田 静 流	錦町	〃
有限会社平電子印刷所賞	論 語（刻 字）	河 治 奇 雲	山玉町	〃
遠 藤 一 心 堂 賞	呉 昌 碩 詩	新 妻 心 葉	郷ヶ丘	〃
〃	ふ る さ と	井戸川 保 子	郷ヶ丘	〃
関 根 一 心 堂 賞	傳 山 詩	山 川 榮 雪	平	〃
マルナカ表具店賞	梅 堯 臣 詩	吉 田 苺 紅	内郷宮町	〃
株式会社坂本紙店賞	春さればまづ鳴く鳥の	高 橋 楊 舟	郷ヶ丘	〃
ホープ商事株式会社賞	七 言 二 句	和 田 純 孝	平上片寄	〃
有限会社磐植賞	趙 嘏 詩	今 峰 積	内郷内町	〃
アートスペース泉賞	王 摩 詰 詩	関 根 精 香	中之作	〃
キ ョ ー 和 賞	李 商 隱 詩	笹 原 東 邨	中岡町	〃
書 優 会 賞	春 雨	青 田 佳 苑	小名浜大原	第二部
株式会社ハニーズ賞	臨 額 済 納 居 延 前 漢 簡	柴 田 晃 奈	平	〃
〃	臨 造 像 記	小野寺 香 玉	泉玉露	〃
ロ ッ キ ー 賞	呉 蘭 雪 詩	笹 田 祐 甫	勿来町	〃
風雅プランニング賞	劉 禹 錫 之 詩	高 萩 祥 陽	泉町	〃
〃	新 古 今 集	鈴 木 柳 苑	小名浜大原	〃
〃	張 羽 詩	寺 崎 丹 楓	東田町	〃
いわき書道協会賞	臨 傳 山	鈴 木 多 佳	平上荒川	〃
〃	五 言 句	佐 藤 朱 紋	平下荒川	〃
〃	長 三 洲 詩	大 谷 飛 燕	平下荒川	〃
〃	春 霞	齋 藤 周 子	泉町	〃
青 少 年 賞	臨 爨 寶 子 碑	橋 本 日香里	泉町	〃

※青少年賞は 20 歳未満を対象に若手育成を目的として設けられたものであり、毎年審査員が任意に若干名選定する。

師風の模倣

今年の総出品数は182点、昨年より18点の増である。一昨年の大地震・津波・放射能で、当いわき市から他方部へ避難したり、市内にあっても仮設住宅に入ったりと、いろいろな悪条件が重なり、到底書を学ぶことなど無理といわざるをえない。その点苦難を克服し、参加された方々に敬意を表する次第である。

話しは本論に入り、現在どの展覧会でも引き合いに出され話題となるのが常だが、師風の模倣いわゆる亜流の作品が全くもって多い。今回のいわき市美展の内容を見ても、その傾向が強い。確かに悪弊で反省すべき大きな課題であり、打開しなければならないと思う。しかし、この件についての解釈はなかなか困難があり、簡単に解決できる筋合いでもない。

初学者に師風を一切捨てた、新しい内容の作品が書けるかである。師風の代りに、古典を選んだとすればどうなるか。これも駄目だということになれば、古典の否定である。問題はどうか臨し、どう消化するかという点だろう。ところで、古典は沢山あるが、どの作品を選択しても、その一つに迫ることは容易な仕事ではない。果して独学でそれが可能であるものか、甚だ疑問である。

師風はむしろ生きた古典である。その生きた古典であろう師の手法を通して、直接に学ぶのが学書の近径であり、かつ的確な入門の道である。ところが、最近師事するのは馬鹿馬鹿しいと考える人の多いのが目につく。これは旧態依然の考え方であり、陳腐とけなされるかも知れぬが、書の場合、仕方のない行程なのである。

師からの技術の体得により、自分なりに修練し、成長と進歩が計られ、大事な個性が自ずと生れる。そして、最後には創造性豊かな一風樹立の尊い存在の作家になっていくのではないか。

2013年3月6日

審査員長 佐々木 折 柴

第42回

書の部入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所	
いわき市長賞	七言句	新妻 淡 遠	常磐湯本町	第一部
いわき市議会議長賞	忍ぶ道	江川 文 子	泉玉露	〃
いわき市教育委員会教育長賞	杜甫詩	本田 葉 月	小名浜	〃
《佳作》				
いわき市文化協会会長賞	さくらは	臺 麗 子	遠野町滝	第一部
福島県報徳社賞	臨走馬楼前漢簡	伊藤 松 茄	平赤井	〃
〃	王建詩	関根 精 香	中之作	〃
美術館友の会賞	明詩二首	吉田 芩 紅	内郷宮町	〃
有限会社トーカイ賞	春	井戸川 保 子	郷ヶ丘	〃
洛 賞	米芾詩	藤 由 紫 光	中央台	〃
〃	傅山詩	山川 榮 雪	平	〃
遠藤一心堂賞	七言二句	小林 昭 夫	常磐上湯長谷町	〃
〃	臨蘇軾“李太白仙詩卷”より	村越 紫 苑	平	〃
関根一心堂賞	滝の音は絶えて久しく	高橋 楊 舟	郷ヶ丘	〃
マルナカ表具店賞	歐陽修詩	佐藤 春 畦	平中神谷	〃
株式会社坂本紙店賞	陶淵明詩	田中 京 華	小名浜	〃
ホープ商事株式会社賞	王直詩	吉村 翠 苑	平	〃
有限会社磐植賞	島崎藤村の詩	阿部 嶋 泉	平下平窪	〃
アートスペース泉賞	王安石詩	今 峰 積	内郷内町	〃
キョー和賞	臨傅山詩	石川 幸太郎	平上片寄	〃
書優会賞	郊居詩	丹野 清 波	小名浜岡小名	〃
株式会社風雅プランニング賞	寒山詩	斎藤 福 庵	郷ヶ丘	〃
〃	猪狩城山詩	猪 狩 城 山	平下平窪	第二部
いわき書道協会賞	五言古詩（薊丘覽古）	国井 東 華	小名浜玉川町	〃
〃	香巖擊竹詩	大山 嶽 鳳	泉ヶ丘	〃
〃	臨傅山詩	鈴木 多 佳	平上荒川	〃
〃	施閏章詩	寺崎 丹 楓	東田町	〃
〃	五言絶句	高萩 祥 陽	泉町	〃
〃	老子語	河治 奇 雲	山玉町	〃
〃	生方鼎齋詩	松田 醉 花	勿来町	〃
〃	萬葉雨聲愁詩	杉山 溪 風	常磐西郷町	〃
〃	張籍詩	樋口 聰 雨	中央台	〃
〃	呉蘭雪詩	佐藤 祥 扇	佐糠町	〃
〃	五言句	細川 瑞 雪	常磐下湯長谷町	〃
〃	睡虎地秦簡之一節	馬上 奈 巳	小名浜	〃
〃	あかあかと	阿部 泰 雪	平沼ノ内	〃
青少年賞	杜甫審言詩	松本 琳 衣	好間町下好間	〃
〃	臨曹全碑	遠藤 裕 子	遠野町上遠野	〃

※青少年賞は、20歳未満を対象に若手育成を目的として設けられたものであり、毎年審査員が任意に若干名選定する。

審査にあたりて

第43回いわき市美展「書の部」は、東日本大震災・原発事故の傷跡が未だ醒めやらぬ日常生活の日々にあって、出品者の激減が懸念されたが、案に相違して、一般・青少年部を含め173名の出品があり、安堵の胸を撫で下した次第であります。

出品者の上位入賞者は、ツバぜり合いの有様で、見応えのある作品が並び、緊張の中にも、暫時審査員の目を楽しませてくれた。

欲を言えばきりはないが、「更に心を新しくして當れ」。

書の道標は古典であり「癖と個性とは全く別のものである」。

書は、パフォーマンス的なものではなく、古典の洗禮を受けて、人間の心を表現するものである。従って、各自各様人みなそれぞれ異なるのが本筋である。

莊子のことばに、「樂出虚」謙虚に己をみつめ、「一筆入魂」無念無想で紙に筆を下す。この筆の跡が「書」である。

氣韻生動、渾朴とした墨の跡が残される。書とはきびしくも切ない瞬時の人生かなと、しみじみ想うこの頃である。

2013年8月21日

審査員長 村上皓南

第43回

書の部入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所	
いわき市長賞	節臨黄山谷詩卷	葉花琴雪	四倉町	第一部
いわき市議会議長賞	司空曙詩句	新妻淡遠	常磐湯本町	〃
いわき市教育委員会教育長賞	ほとゝぎす	臺麗子	遠野町滝	〃
《佳作》				
いわき市文化協会会長賞	島崎藤村の詩	阿部嶋泉	平下平窪	第一部
福島県報徳社賞	五言	片寄光月	平	〃
〃	本意のごとく	江川文子	泉玉露	〃
美術館友の会賞	晁冲詩	吉田荖紅	内郷宮町	〃
有限会社トーカイ賞	王漁洋詩	長久保萩泉	勿来町	〃
洛賞	陶淵明詩	本田葉月	小名浜	〃
〃	泊石湖有懷	谷津淑夫	内郷宮町	〃
遠藤一心堂賞	周孟簡詩	伊藤松茄	平赤井	〃
〃	臨蘇東坡李白詩卷	村越紫苑	平	〃
関根一心堂賞	孟浩然詩	吉村翠苑	平	〃
マルナカ表具店賞	杜甫詩	金成大雅	中央台高久	〃
株式会社坂本紙店賞	山ざくら	井戸川保子	郷ヶ丘	〃
ホープ商事株式会社賞	七言二句	小林昭夫	常磐上湯長谷町	〃
有限会社磐植賞	李白詩	小林峯玉	湘南台	〃
キョー一和賞	孟浩然詩	関根精香	中之作	〃
書優会賞	王維詩	藤由紫光	中央台	〃
株式会社風雅プランニング賞	臨孔家坡前漢簡	佐藤景苑	平	〃
〃	范睢列伝	馬上溪花	平中山	〃
いわき書道協会賞	孟浩然詩	山川榮雪	平	〃
〃	章有渭詩	笹田祐甫	勿来町	〃
〃	宇文虚中詩	樋田静流	錦町	〃
〃	錢起詩	山野邊素心	平谷川瀬	〃
〃	旅にして物戀しきに	高橋楊舟	郷ヶ丘	〃
〃	心外無法	大山嶽鳳	泉ヶ丘	第二部
〃	臨傳山詩	鈴木多佳	平上荒川	〃
〃	厲鶚詩	大谷飛燕	平下荒川	〃
〃	文徵明詩	渡部紫葉	勿来町	〃
〃	王維詩	丹野祐子	小名浜	〃
〃	李商隱詩	佐藤清峰	好間町北好間	〃
〃	夏目漱石の詩	丹野曉華	小名浜大原	〃
〃	づさ文	齋藤周子	泉町	〃
〃	臨金絶句	柳田香風	常磐上湯長谷町	〃
青少年賞	五言中秋帖	古瀬杏奈	小名浜大原	〃
〃	臨中	鈴木奈々子	平下荒川	〃

※青少年賞は、20歳未満を対象に若手育成を目的として設けられたものであり、毎年審査員が任意に若干名選定する。